

能 真双会

坂真次郎 十七回忌追善
第49回 能と狂言の鑑賞会

平家物語夢幻

HEIKKE-MONOGATARI MUGEN

お話 滅びゆく平家の立役者 林 望
狂言 二千石 じせんせき 野村 萬斎
能 船辨慶 ふなべんけい・おもきぜんごのかえ・はやしょうぞく 重前後之替・早装束 坂 真太郎

令和4年 10月22日(土) 午後1時開演

千駄ヶ谷 国立能楽堂

新型コロナウイルスの感染状況や、行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新などに伴い、内容や上演形態に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

坂真次郎十七回忌追善
第四十九回 能と狂言の鑑賞会

平家物語夢幻

『平家物語』に拠った能楽作品は少なくありません。今回は『平家物語』を題材とした作品を集め、「平家物語夢幻」と題してご覧頂きます。

狂言 一千石 じせんせき

都見物から帰った太郎冠者に、主人が都の様子を尋ねると、冠者は都で習ってきた謡を披露します。すると主人は俄に機嫌が悪くなり、「その謡は家に伝わる八幡太郎義家ゆかりの大事の謡である」と由緒を語り、軽々に謡った冠者を手討ちしようとする太刀を振り上げます。

能 船辨慶 ふなべんけい

源義経は平家討伐に勲功を立てながら、兄・頼朝に嫌疑をかけられ、暫く西国へ身を隠そうと摂津尼崎大物浦からの船出を思い立ちます。義経は弁慶の進言により、ここまで彼を慕いついて来た静御前を都へ帰す事とし、静は酒宴で名残の舞を舞い、泣く泣く別れを告げるのでした。やがて義経一行が船出すると、天候が急変し、義経に滅ぼされて恨みをなす平家一門の亡霊が出現。中にも平知盛の怨霊が、自分達と同じように義経をも海に沈めようと、凄まじい剣幕で襲いかかりますが、弁慶の祈りによって亡霊は姿を消すのでした。

番組

お話
滅びゆく平家の立役者

(三十分)

林望(作家・国文学者)

仕舞(観世流)

熊野

坂 賀子

清経

観世 喜正

景清

観世 喜之

狂言(和泉流)

二千石

シテ 野村 萬斎
アド 石田 幸雄

後見 高野 和憲

能(観世流)

船辨慶

シテ 坂 真太郎
子方 坂 瞳子

重前後之替
早装束

ワキ 福王 和幸
ワキツレ 村瀬 提

アイ 矢野 昌平
中村 修一

笛 藤田 次郎

小鼓 鶴澤洋太郎

大鼓 佃 良勝

太鼓 小寺真佐人

地頭 観世 喜正

主後見 奥川 恒治

終演予定 午後4時15分
上演中の撮影・録音は固くお断り致します。未就学児のご入場はご遠慮頂けますようお願い申し上げます。やむを得ぬ事情により、出演者、演目等に変更が生じる場合は何卒ご了承下さい。



坂 真太郎 (ばん しんたろう)

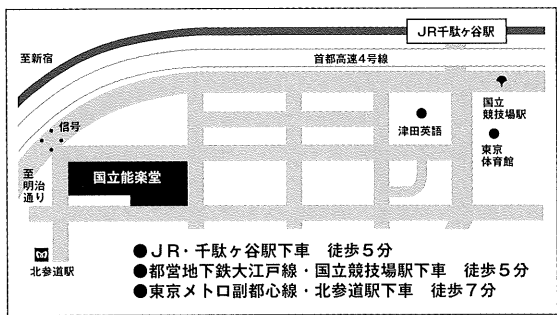
能楽師シテ方観世流。昭和47年生。坂 真次郎の長男。三世 観世喜之師に師事。公益社団法人観世九早会会員。公益社団法人 能楽協会 東京支部常議員。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。安宅賞を受賞。昭和50年の初舞台以来、これまでに『石橋』『猩々乱』『道成寺』等を披露。平成15年 皇居・桃華楽堂で御前演奏。台東区アートアドバイザー・たいとう観光大使。

令和4年10月22日(土) 午後1時開演(正午開場)
千駄ヶ谷 国立能楽堂 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1

入場料 正面 : 8,500円
(全席指定・税込) 脇・中正面 : 6,000円
学生GB席 : 2,500円

前売開始
8月23日(火)

入場券のお求めは主催者または下記へ
Confetti (カンフェティ) ... 観劇ポータルサイト
WEB予約 <http://confetti-web.com/shinnohsho>
電話予約 0120-240-540 (受付時間 平日10:00~18:00)
主催 眞双会
〒110-0003 東京都台東区根岸5-11-5
TEL 03-3873-5404 FAX 03-3873-5635
<http://shinnohsho.net/>
info_shinnoh@yahoo.co.jp
郵便振替口座 00160-9-606000 眞双会



幽玄の世界
噺子が誘う、
この国の佳き伝統とともに
宮本卯之助
株式会社 宮本卯之助商店
創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売
www.miyamoto-unosuke.co.jp

Photo : 瀬尾泰章 Design: 島本直尚 (PG collabo.inc)